

令和7年度

多治見市立小学校・中学校

# 福祉共育のまとめ

令和7年度に市内の小中学校で行われた福祉共育や体験活動をまとめました。  
高齢者や障がい者の疑似体験による思いやりの心の育成、地域や通学路の環境美化による社会貢献活動(ボランティア活動)、高齢者とのふれあい交流など様々な取り組みが行われました。  
今後の取り組みの参考にさせていただければ幸いです。  
社会福祉協議会では、学校で行われる福祉共育や体験活動を支援させていただきますので、お気軽にご相談ください。

## 掲載ページ

<a href="#">養正小学校</a>	1
<a href="#">精華小学校</a>	3
<a href="#">共栄小学校</a>	5
<a href="#">昭和小学校</a>	7
<a href="#">小泉小学校</a>	10
<a href="#">池田小学校</a>	12
<a href="#">市之倉小学校</a>	14
<a href="#">滝呂小学校</a>	16
<a href="#">南姫小学校</a>	18
<a href="#">根本小学校</a>	20
<a href="#">北栄小学校</a>	23
<a href="#">脇之島小学校</a>	26
<a href="#">笠原小学校</a>	28
<a href="#">多治見中学校</a>	30
<a href="#">小泉中学校</a>	32
<a href="#">南ヶ丘中学校</a>	34
<a href="#">北陵中学校</a>	35
<a href="#">南姫中学校</a>	37
<a href="#">笠原中学校</a>	39

令和8年4月

社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会 地域福祉課

電話 25-1134 FAX 25-1132

# 養正小学校

## ○今年度の重点活動



テーマ：福祉「体験活動を通して、差別・偏見のない持続可能な福祉活動を考える」

内容：体験や交流活動を通して、身のまわりの福祉について調べたり考えたりする。（募金活動、障がい疑似体験、あいさつ運動、育友会活動との連携）

生徒のコメント：障がい者の方のお話を聞いて、どのようなことで困ってみえるのか、どのように接してほしいと思ってみえるのかがわかりました。車いす体験や高齢者の体験をしたことで、体にどれだけの負担がかかるのかを実感することができました。

いろいろな障がいをもった人がいますが、差別や偏見をもつのではなく、支えながら一緒に生きていける社会にしていきたいです。これからも障がいをもつ方の苦勞を知ると共に支える方法について学んでいきたいと思いました。

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

高齢者疑似体験や車いすの体験、視覚障がい者、聴覚障がい者のお話から学んだことを、参観日の時に、実演などをしながら保護者に対して発表する場を作れたこと

### △今後の課題

体験活動も増え、保護者や地域の方を学校へ招くこともできるようになったが、子どもたちが地域へ出て活動する機会がほとんどない。

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	鼓笛演奏を発表することで、地域の方と交流できた。（運動会、たじみまつり鼓笛隊パレード）
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	児童の福祉体験や校内の異学年交流活動を、学年通信、広報（育友会が年3回発行）、ホームページなどで、全校児童・保護者・地域の方にお知らせをした。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	バリアフリーについて教室で学習した後、校内のバリアフリーについて調査した。さらに、まち探検の中で、地域にあるバリアフリーの様子について調査した。

○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	<p>校区に住んでみえる独居老人の方のところに、6年生が年賀状を送ることで交流をもった。施設の訪問などは、以前は実施していたようだが、ここ数年は実施できていない。</p>
地域での訪問・交流・体験活動	<p>2年生の生活科まち探検を実施したときに、地域の方や保護者が見守りボランティアとして参加していただいた。また、発表会に地域の方が参観して、児童と給食も食べる機会をもてた。</p> <p>4年生が講話や福祉体験をした経験を、2月の授業参観で、保護者に向けて参加型の発表会を行った。</p>
学校行事への招待	<p>運動会には、保護者だけでなく地域の方にも児童の活動を見ていただいた。養正地域会議の方々も招待した。</p> <p>2年生の学習発表会には、まち探検で協力してくださった地域の方を招待し、充実した発表会になった。</p>
美化・環境整備活動等	<p>まちづくり市民会議の皆さんの全面協力を得ながら、「花いっぱい運動」に取り組んだ。最初に花づくりをまちづくり市民会議から依頼を受け、植ええや、苗の植え替えを行い、プレートを付けて地域に配った。また、お世話になっている110番の家にも花を届けた。</p>
福祉体験	<p>4年生が、車いす体験を校内で行った。また、社会福祉協議会の方に来ていただいて、高齢者体験も行った。視覚障がい者、聴覚障がいの方に来ていただいて、お話を聞いた。点字や手話などについて、詳しく話を聞くことができた。</p>
学校行事外の参加活動	<p>養正交流センターに、各学級から作品(習字、絵画)を出品した。昨年度は、交流センターの改修工事のため、参加できなかったが、今年度はイベントにも児童が参加できた。</p>
収集・募金活動	<p>児童会を中心に、赤い羽根共同募金への呼びかけと募金活動を行った。多くの児童が参加することができた。</p> <p>「心のとも」活動を特別支援学級の児童を中心に行った。計画から封筒作成、呼びかけ、注文等、活動全般を進めた。活動に共感し、多くの児童が参加してきた。</p>
学校間の情報交換・交流等	<p>近隣の多治見高校の生徒が来校し、独自に開発した防災学習カードを使い、4年生と防災について学習した。</p> <p>多治見中学校から、職場体験で1名の生徒が来校し、授業中に個別指導をしたり、休み時間に児童と遊んだりした。</p>
その他	



# 精華小学校

## ○今年度の重点活動



テーマ:

障がいについて正しく知ろう

内容:

車イス体験, アイマスク体験

視覚障がいの方の話を聞く会

高齢者体験

盲導犬講話

児童のコメント

盲導犬は10頭中3頭しか出来ないことに驚きました。盲導犬を見かけても、声をかけたり、さわらないようにしたりして、目が不自由な方に声をかけることを守りたいと思いました。

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

- ・車イス, アイマスク等の体験的な活動を少人数のグループで行うことができたこと
- ・視覚障がいの方の話を直接聞き、学ぶことができたこと
- ・高齢者体験の学習をすることで、高齢者のことを身近に感じる事ができたこと

### △今後の課題

- ・学校内の学習器具を整えながら、継続的に学習をしていくこと。

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・福祉委員会による「赤い羽根共同募金」の呼びかけ ・特別支援学級による「心の友運動」の呼びかけ
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	・バリアフリー調査(総合的な学習の時間)

○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	・高齢者(独居老人)への年賀状(4年生)
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	
福祉体験	・4年生の総合的な学習の時間におけるアイマスク体験, 車イス体験, 聴覚障がいの方の話を聞く会、高齢者体験 ・盲導犬講話
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	・アルミ缶回収 ・赤い羽根共同募金
学校間の情報交換・交流等	・居住地校交流(東濃特別支援学校)
その他	



# 共栄小学校

## ○今年度の重点活動



テーマ：

花いっぱい運動や太鼓学習の体験や福祉体験・保育園交流を通して、地域の方や文化とふれあい郷土愛をはぐくむ。

内容：

- ①学校で育てた花を地域に配布し、共栄地区が花いっぱいになることで地域の方に喜んでいただく。
- ②地域の文化の一つである太鼓を地域の方から学び、自分たちが育つ地域のことをより深く理解する。
- ③保育園児や福祉学習の講師の方との交流を通して、福祉の大切さを感じる。

児童のコメント：

「私たちが植えた花で、町がきれいになるといいなと思いました。」

「障がいのある人と町で出会ったときに、何か手助けができるようにしたいです。」

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

- ・3年生では、種からマリーゴールドを育てて地域にかざってもらった活動を行う中で、地域の人と交流を図りながら活動を行うことができた。また、自分たちが育てた花が、地域できれいに咲いている姿を見て、自分たちの活動に誇りをもつことができた。
- ・5年生では、白杖体験・車椅子体験・高齢者福祉体験のほかに、ボッチャを通じた高齢者との交流、保育園児との交流、障がいがある人を講師に招いての講話など、体験や交流を中心とした活動を行うことができた。

### △今後の課題

- ・行事をきっかけにした交流が、日常的な交流につながることを期待したい。

○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方から、地域太鼓の伝統や歴史について学んだ。(3年生)</li> <li>・聴覚障がい者の方の講話。(5年生)</li> <li>・視覚障がい者の方の講話。(5年生)</li> </ul>



# 昭和小学校

## ○今年度の重点活動



市民病院演奏会



地域の方とボッチャ交流会



鉢植えの受け渡しの様子

テーマ 「そっと やさしく さりげなく」

内 容

- ・福祉を特別視するのではなく、いつでも、どこでも、だれにでも福祉は役立っていることを、すべての児童が理解できるようにする。
- ・座学のみならず、体験を通して、一人一人の実感として福祉を理解できる学習を進める。
- ・福祉を通して、福祉を必要としている方はもちろん、地域の方、家族、学級や学校の仲間に対して寛容に接し、良好な関係を築く力を育む。

児童のコメント

- ・聴覚障がい者の方のお話を聞いて、障がいは「かわいそう」じゃないという言葉がすごく心に残りました。目標をもち、工夫を重ねて夢をかなえていて、本当にすごいと思いました。
- ・町や学校、家にも、たくさんのバリアフリーがあることがわかりました。

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

本校では、4年生の総合的な学習の時間に「福祉」をテーマとした学習を行っている。「福祉」について学びを重ねる中で、福祉の視点から、自分の身の回りのことや、世の中を見直すことができるようになってきた。そのために、さまざまな障がいをもった方を講師として招いて、話を直接聞く体験を通して、当事者が経験した、社会で生活する上での厳しさや、人々のやさしさや温かさを、具体的に学ぶことができた。

昨年度に引き続き、今年度もパラスポーツの一つである「ボッチャ」に取り組むことを通して、障がいをもった皆さんや地域の方、さらには保護者とも広く、深く交流をすることができた。

募金活動は、現金を子供が持って登校することが難しいため、週に1回ずつ行っている児童会主催のアルミ缶回収活動の収益金から児童会が募金する額を自分たちで決めて募金に協力する形にした。

本年度、5年生で「花育」の取り組みをした。児童委員、民生委員さんと協力し、育てた花を独居老人のみなさんにプレゼントをした。すると多くのみなさんからお礼のお手紙をいただき、子どもたちもたいへん喜んでいて、花づくりを通して交流を、来年度以降も続けられたらよいと考えている。

### △今後の課題

障がいをもった皆さんが、日常生活で使用している機材や体験セットを活用した体験学習を通して、社会の不便さや、バリアフリー社会の実現にはまだ程遠い現実を学ぶことができた。しかし、話を聞いたり体験したりして、実情について知ったり理解したりするところまでであり「自分たちにできること」を具体的に考えたり、「これからの世の中に望みたいこと」を思いつくなど、社会や世の中に働きかけようというところまではいけていないところがある。ただ知る、理解するまででとどまることなく、当事者との関わり合いや交流をする体験を通して、福祉に対する個々の意志がもてるようにさせたい。

### ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・聴覚障がい者、視覚障がい者の方を講師として、日々の体験や考え方についてご講演をしていただいた。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・4年生児童が、障がいをもった方の講話を聴き、さらに体験学習をしたことと、自ら調べたことを壁新聞にまとめた。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	・福祉学習で学んだ知識をもとに、身の回りの福祉を探す活動を行った。学校外（学校～多治見駅周辺）に出向き、身の回りにある福祉、バリアフリーを見つける活動に取り組んだ。

### ○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	・4年生児童を対象に、講話に来ていただいた障がいをもった皆さんや福祉にかかわるお仕事をしている皆さんと、話の後で、質問をしたり直接話をしたりして、講話からは聴くことができない暮らしの中身について話し合う姿があった。 ・6年生の児童が多治見市民病院へ出向き、伝統の鼓笛の演奏を披露した。 ・4年生の児童が多治見市民病院へ出向き、クリスマスコンサートで合唱を披露した。
地域での訪問・交流・体験活動	・4年生の児童が、校区に住む高齢者（独居老人）の皆さんへ、年賀状を書いて送った。送った方からの返信もあり、児童が活動の意義を味わうことができた。 ・年賀状を送付する高齢者の皆さんのリストは、社会福祉協議会からお知らせいただいた。
学校行事への招待	・パラスポーツの一つである「ボッチャ」に熱心に取り組んだ。障がいをもった方や地域の方とのボッチャ交流会を通し、パラスポーツの意義を理解した。

<p>美化・環境整備活動等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり市民会議の皆さんと一緒に「花いっぱい運動」に取り組み、学校の敷地内に新しく花壇を整備して花の苗を植えて世話をし、花のある環境を整えた。</li> <li>・本年度、5年生で花育（花苗栽培体験・寄せ植え体験）を行った。その活動の中で育てることができたたくさんの花苗を来校された保護者やお客さんに配布した。</li> <li>・5年生は、校区の民生委員・主任児童委員の方々と一緒にパンジー・ビオラの苗を鉢に植え替えをして、学校で育て、地域の独居老人のみなさんにプレゼントをした。</li> </ul>
<p>福祉体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障がい者体験、視覚障がい者体験、手話体験、パラスポーツ（ボッチャ）体験 など、様々な福祉体験をした。</li> </ul>
<p>学校行事外の参加活動</p>	
<p>収集・募金活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「赤い羽根共同募金」では、懇談会や参観日に来校した保護者の皆さんに協力をお願いした。</li> <li>・児童が現金を学校にもってこることができないので、児童会が週に一回行っているアルミ缶回収の収益金の中から、児童会でできる範囲の募金を行った。</li> <li>・募金で集めたお金は、総合福祉センターの方に来校いただき、児童から手渡し、寄付をした。</li> </ul>
<p>学校間の情報交換・交流等</p>	
<p>その他</p>	



# 小泉小学校

## ○今年度の重点活動



テーマ: 思いやりと感謝の気持ちのあふれる子

内 容: 第4学年において、視覚障がいがある方の体験(白杖体験・アイマスクの体験)や、聴覚障がいの方の講話、高齢者疑似体験、ボッチャ体験・交流会を通して、障がいでの不便になるところを見つけ、自分ができることを考える。

生徒のコメント: 目が不自由だったり、高齢者になったりするとどんなことが大変なのか、体験をしてみてもじめて分かりました。私たちにできることがあったら、声をかけたいです。ボッチャ交流会では、地域の方たちと年齢や障がいに関係なく楽しめたので、これからも交流していきたいと思いました。

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

白杖体験・アイマスク体験、視覚しょうがい者の方の講話、高齢者疑似体験、ボッチャ交流会など多様な福祉体験をしたことで、福祉についての理解が深まり、相手の立場に立って考えることの大切さがわかった。

### △今後の課題

福祉体験を通して学んだことを、自分の身近な人や地域で出会った体の不自由な人に対する行動に移せるようにすること、また、周りの人たちに対して、相手の立場に立って思いやりの気持ちをもって接することにつなげていく。

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・学習して学んだことをまとめ、授業参観で発表会を開いた。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・学習したことや講話を聞いて学んだことを、新聞にまとめた。
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	・特記事項なし


○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	・地域の高齢者とのポッチャ交流会(4年生)
地域での訪問・交流・体験活動	・独居高齢者との年賀状の交流(4年生) ・わら打ち・縄繻い体験(3年生) ・昔遊び体験(1年生)
学校行事への招待	・感謝の会招待(2年生) ・ふるさと探検学習発表会招待(3年生)
美化・環境整備活動等	・環境委員の花植え活動(5, 6年生)
福祉体験	・アイマスク体験 (4年生) ・白杖体験 ・聴覚障がい者の方の講話 ・高齢者疑似体験 ・ポッチャ体験
学校行事外の参加活動	・特記事項なし
収集・募金活動	・ペットボトルキャップ回収活動(小泉ボランティアズ) ・使用済み使い捨てカイロ回収活動(PTA)
学校間の情報交換・交流等	・特記事項なし
その他	・特記事項なし



# 池田小学校

## ○今年度の重点活動

	<p>テーマ： 福祉体験を通して、福祉への関わりを考えよう。</p>
	<p>内容： 車いす体験、アイマスク・白杖体験、高齢者疑似体験、聴覚障がいの方の話の聞く会、視覚障がいの方の話の聞く会</p>
	<p>生徒のコメント： 高齢者疑似体験をしてみて、階段を下りた時、膝が曲がらなくて怖かった。それに、目が見えないし聞こえないので、とても心細く感じた。高齢者の人が、なぜゆっくり歩いているのかがわかった。一歩前に足を出すことが、こんなに勇気があることなんだと分かった。困っている人がいたら、今日教えてもらったことを使って、進んで声をかけて手助けしたいです。</p>

## ○活動面での総括

<p>◎評価できること 車いす体験、アイマスク・白杖体験、高齢者疑似体験、聴覚障がいの方の話の聞く会、視覚障がいの方の話の聞く会など、体験的な活動を行うことができた。</p>
<p>△今後の課題 パラスポーツ体験や学んだことを学校生活や地域に生かしていくこと。</p>

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・児童会による「赤い羽根共同募金」の呼びかけ
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	

## ○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	

地域での訪問・交流・体験活動	・高齢者(独居老人)への年賀状
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	
福祉体験	・5年生の総合的な学習の時間における車いす体験、アイマスク・白杖体験、高齢者疑似体験、聴覚障がいの方の話を聞く会、視覚障がいの方の話を聞く会
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	・赤い羽根共同募金
学校間の情報交換・交流等	・居住地校交流(東濃特別支援学校)
その他	



# 市之倉小学校

## ○今年度の重点活動



【1. 聴覚障害について知ろう】



【2. ガイドヘルプ体験をしよう】



【3. 地域の人と昔遊び】



【3. ぼっちゃ交流会の練習】

テーマ:障害をもつ方について理解し、地域の方と交流しよう。

内容:今年度も、障害をもつ方を講師に招き、講演や体験活動を行った。また、地域の方に一年間の感謝の気持ちを込めて、清掃活動を行った。

- 1 聴覚障害について知ろう。(全校)
- 2 車イス体験・ガイドヘルプ体験をしよう。(6年)
- 3 異学年や地域の人と交流しよう。(全校・1年と園児)
- 4 地域の方に感謝の気持ちを伝えよう。(6年)

児童のコメント:

- 1 伝わらないからとあきらめないことや、夢に向かって努力を続ける大切さが分かった。(5年)口の動きで、言っていることが分かるなんてすごいと思った。(4年)
- 2 車いすの移動や見えない状態で歩くことは、大変とっていただけ、本当に大変なことや不安があることが分かった。これからは自分にやれることをして助けていきたい。(6年)普段、自分が見えていることが当たり前の生活だった。話を聞き、それが当たり前のことではないことを知った。誰かが困っていたら、やさしく声をかけて何をしてほしいかを聞くことからしていきたい。(6年)
- 3 楽しんでもらえるように頑張ってお話したよ。(1年)昔遊びで、竹とんぼを教わったよ。高くとんだよ。(1年)ポッチャでみんなや地域の人と楽しく遊ぶために練習をするよ。(1年)
- 4 私たちのことをいつも見守り支えてくださった地域の方に、「6年間お世話になりました。これからもよろしくお願いします。」の気持ちを込めて、地域清掃活動を行った。(6年)

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

講演だけでなく、体験活動や遊びを行うことで児童が自分事として考えることができた。また、障害をもつ方が、自分の夢の実現に向けて努力をされ、目標の職業に就いたお話を聞き、自分で考え行動することの大切さに気づき、これからの自分について考えるよい機会となった。

### △今後の課題

児童間だけでなく、いろいろな立場の人を知る機会を、今年度同様に取り組んでいき、6年生の総合的な学習の時間「福祉についての学習」に加え、全校児童でもそれぞれの個性があることや共に楽しく生活をしていく心情を育てていく。遊びなどでも地域との交流を深めていく。

○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・聴覚障がいの方を招いて全校児童に講話していただいた。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	

○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	社会福祉協議会からの依頼で、高齢者や独居の方に年賀状を送った。
地域での訪問・交流・体験活動	地域の夏祭りに楽しく参加するために、うながつぱ音頭を地域の方から教わって練習した。
学校行事への招待	15名の地域の方を招いて、1年生活科「昔遊びの会」を行った。1年生が、町内の園児を「おもちゃランド」や「半日入学」に招待して、交流をもった。
美化・環境整備活動等	市之倉地域の方に感謝の気持ちを伝えるため、自分たちができることを考え、地域清掃を行った。
福祉体験	6年生が、白杖体験や車いす体験を行った。 特別支援児童が昨年度ボッチャ体験をした。それをきっかけに、異学年や地域の人とボッチャを楽しむことができた。
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	
学校間の情報交換・交流等	
その他	



# 滝呂小学校

## ○今年度の重点活動



**テーマ:**福祉に関わる学習を通じて、その状態におかれた方々と共生していく意識や態度を育てる。

**内容:**聴覚障害者の講話を聞くことを通して、障害について理解を深め、障害者と「共に生きる」方法について考える。また、高齢者疑似体験や認知症講話を通して、相手の立場や状況に合わせた支援の仕方があることを理解する。



**生徒のコメント:**「高齢者疑似体験をして、おばあちゃんと歩くときに、よく腕をつかまれるから、どうしてつかまれるのか疑問だったけど、おばあちゃんからすると私が杖代わりですごく歩きやすいんだと、今回のことで分かりました」「認知症になっても周りの人の協力のおかげで普通に暮らせるということを聞いて、身近な人に認知症にはなってほしくないけど、なってしまったら今日体験したことを生かしていきたいです。今後認知症の影響で困っている人がいたら、力が貸せるように心がけていきたいです」

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

障害を身近なこととして捉え、本当に力になることとは何かを考えることができた。

### △今後の課題

講演会を通して感じた興味関心を、その後の探究活動につなげること。

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害をもっている方の講話を聴く</li> <li>・高齢者疑似体験</li> <li>・認知症についての講話を聴く</li> </ul>
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	<p>・「福祉」に関する様々なテーマから、自分の興味のあるものを選び、タブレット端末や図書館を活用しながら、調べ学習を進めて、レポートを作成した。また、作成したレポートについて、発表会を行った。</p>


○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	・独居老人への年賀状作成／送付
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	・校内環境整備
福祉体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者疑似体験</li> <li>・車いす体験</li> <li>・点字体験、白杖体験</li> </ul>
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	
学校間の情報交換・交流等	
その他	



# 南姫小学校

## ○今年度の重点活動

	<p>テーマ：誰もが過ごしやすい社会を考える</p> <p>内 容：地域の福祉施設(陶技学園)の方との交流</p> <p>生徒のコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がいの方が製作された遊び道具を見せていただき、障がいに合った道具を作ることが大切だと理解した。</li> <li>・交流する施設の方々の障がいについて調べ、考慮すべきことを理解した。</li> <li>・障がいの有無に関係なく、楽しんでもらえるように考え、UDを意識して遊び道具を作成した。</li> </ul>
---	--

## ○動画での総括

<p>◎評価できること 視覚障がいをもつ方の話を聞き、UDに興味をもち、「誰もが使いやすい・過ごしやすい」という意識を児童一人一人がもつことができた。陶技学園の方と交流するときや成果を発表する際には、UDを生かした遊び道具や資料作りにも取り組むことができ、お世話になった陶技学園の方や社会福祉協議会の方に発表することができた。</p>
<p>△今後の課題 学んだことや意識を、次学年に伝える活動を取り入れることで、来年度も、継続して陶技学園との交流や社会福祉協議会との連携を引き継ぐようにする。また、福祉を考える取組を校内に位置づける。</p>

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がいをもつ方のお話を聞く会</li> <li>・陶技学園との遊びを通じた交流会</li> <li>・授業参観の場での成果発表会</li> </ul>
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校報</li> <li>・学校ホームページ</li> <li>・学年通信</li> </ul>
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の福祉施設(陶技学園)の見学の実施</li> <li>・社会福祉協議会との連携による福祉体験(点訳、アイマスク、車いす)</li> <li>・授業参観による学習発表会 (社会福祉協議会、陶技学園、多治見市議来校)</li> </ul>

○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶技学園の施設見学</li> <li>・陶技学園との交流</li> </ul>
地域での訪問・交流・体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居老人との年賀状交流</li> <li>・姫こども園の園児との交流</li> </ul>
学校行事への招待	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の2月の授業参観(福祉の学習で学んだこと)に陶技学園の職員の方を招待</li> </ul>
美化・環境整備活動等	
福祉体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生による車椅子体験</li> <li>・5年生によるアイマスク体験</li> </ul>
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南姫中学校の活動に協力(アルミ缶収集・ペットボトルキャップ収集)</li> </ul>
学校間の情報交換・交流等	
その他	



# 根本小学校

## ○今年度の重点活動



## テーマ:「かかわりを大切に」

### <内 容>

- 学校に来校された方が気持ちよくなる環境作りとして、毎年特別支援学級の児童を中心に、花壇に花を植えている。今年度は、地域の花苗作りをされる「北丘会」の方に来校していただき、あおぞら学級とボランティア児童に、ビオラやマリーゴールド等の種の蒔き方を教えていただいた。その後、特別支援学級の児童を中心に、水遣りや花の植え替え等の世話をしながら花を育成し、学校内の児童や職員の心を和ませている。また、1年生が新入生の入学を祝う鉢花作りをした。
- 平成26年からねもと地域力の方々が、宮城県石巻市でたくましく開花したひまわりの種を譲り受け、「ど根性ひまわり」を育てていることと協賛し、令和5年度からあおぞら学級が、昨年度からは4年生も「ど根性ひまわり」の種を蒔き、育てる活動を行っている。今後も続けていく。
- 独居の方への年賀状交流(6年生)ができた。
- 視覚障がい者の方に講演をしていただき、疑似体験を通して、共に生きるためにはどうするとよいのかを考えた。

## ○ 活動面での総括

### ◎評価できること

「かかわりを大切に」をテーマに、様々な福祉学習・福祉体験ができた。特に、数年継続している高齢者疑似体験が大変有効であると同時に、視覚障がい者の話を聞くことも児童にとって学ぶことが多くあった。

また、様々な人との交流ができた。児童のクラブ活動の1つとして「地域ふれあいクラブ」が発足したり、6年生と地域が根本の町のよさについて一緒に語る会を実施したりす

る等、地域の方とかかわる活動が増えた。地域と学校が一体となって子ども達を育成する機運が高まり、意義深いものとなった。

△今後の課題

居住地校交流は、今年度同様、充実させる。また、地域との連携もさらに強化し、身近な人たちとのかかわりから学ぶ機会を多く設ける。また、環境美化活動にも力を注ぐ。

特に、今年度、インフルエンザ等の感染が懸念され、地域にある高齢者福祉施設訪問が実施できなかった。来年度は、早い時期に施設を訪問し、高齢者とふれあう場を設定する。

○ 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	○6年生総合「福祉学習」において、福祉の在り方について調べ、交流した。

○体験学習のまとめ

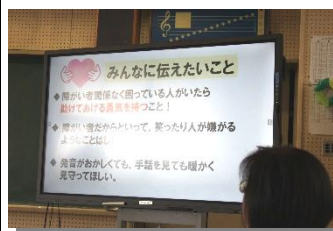
活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	○1年生児童が旭ヶ丘保育園児と交流を行った。(今年度はインフルエンザ等の感染防止対応のため、董根本幼稚園児との交流は中止となった。) ○6年生児童の地域独居の方との年賀状交流。
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	○1年生・特別支援学級：春に咲く花で学校を美しくして、新入生や来校者に喜んでもらうために、鉢や花壇にチューリップやビオラ等を植えて手入れをした。 ○4年生・特別支援学級児童が、「ど根性ひまわり」の種を蒔き、育てた。 ○地域の花苗作りをする「北丘会」の方から、種蒔きの仕方を教えていただいたり、地域の野菜作り名人から野菜作りのコツを教えていただいたりした。

福祉体験	○6年生：高齢者疑似体験として、車いすでの移動の大変さ、指先の不自由さ、早口で話されると聞き取ることが困難であること等を体験した。また、視覚障がいのある方を招いて講演していただき、その生活の困難さなどを知ることができた。共に生きていくために必要なことを考え、学ぶことができた。
学校行事外の参加活動	
収集・募金活動	
学校間の情報交換・交流等	○居住地校交流
その他	○全校：新入生を迎える会を実施し、1年生にプレゼントしたり、一緒に楽しく遊んだりして人とのかかわりを大切にする時間を過ごした。



# 北栄小学校

## ○ 今年度の重点活動



テーマ:

「地域の一員として、地域に貢献しようとする心を育てる」

内容:

1. 地域の環境を美しくする活動(清掃活動)を通して、地域に貢献しようとする心を育てる。
2. 日常の身近な福祉活動の体験を通して、社会福祉への理解・関心を高め、思いやりの心を育てるとともに、福祉活動に対する実践意欲を高める。

児童のコメント:

<地域の清掃活動を通して>

- ・気が付きにくい側溝や草むらにも空き缶やペットボトル、お菓子などの袋が結構捨てられていて驚いた。
- ・汚れていたところがきれいになっていく様子を見て、さわやかな気持ちになっていった。

<福祉活動を通して>

- ・重度の感音性難聴の方の話を直接触れ合えたことで、身近にいらっしゃる障がいをもった方とのかかわり方について、これからも続けて考えていきたいと思った。

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

- ・日頃、当たり前のように使っている通学路や公園にも、想像以上にゴミが捨てられていることに気付く、自分たちにも何かできることはないか等を考えることができた。また、清掃活動を通して、地域に住む一員として美化に努める心を高めることもできた。
- ・今回、障がいをもった方から直接お話を聞く機会を通して、これまではあまり身近なこととして感じられていなかった分野にも、積極的に学ぼうとする意欲をもつことができた。

### △今後の課題

- ・これから生きる子どもたちには、今回触れた障がい以外にもさまざまな障がいをもった方との共生、また、高齢になっていくにつれて、少なからずなにかしらの障がいに接するようになる展望をもちながら、より広い視野がもてるようにする。
- 今後は、障がいについての見地をさらに広げるとともに、障がいをもった方々との交流や高齢者との交流の場を模索しながら、さらなる理解の向上へとつなげたい。

○ 広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・令和7年度は、実施せず。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・「奉仕作業」として地域の清掃作業の様子を学校 HP で紹介した。 (令和7年度) 令和8年2月26日(木): <u>地域清掃の奉仕作業</u>
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	・他者(高齢者)理解を深めるため、高齢者体験キットを身に付け、廊下歩行や階段昇降を行い、身体の不自由さを実際に体験した。

○ 体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	・「寄せ植え鉢」と「メッセージカード」を作成し、近隣の高齢者施設へお届けした。
地域での訪問・交流・体験活動	・令和7年度は、実施しなかった。
学校行事への招待	・令和7年度は、実施しなかった。
美化・環境整備活動等	・令和8年2月26日(木) 地域清掃:「 <u>地域に感謝を伝えよう</u> 」 ⇒6年生2クラスで実施。掃除中に会った地域の方には、自ら進んで挨拶をし、「すごいね。掃除してくれて助かるわ。ありがとう!」と声をかけてもらい、もっときれいにしたい!と、美しくすることへの爽快感・達成感を味わうことができた。
福祉体験	・6/23(月) 実施 ⇒重度の感音性難聴の方の話を聞き、相手を思いやる心を育んだ。  ・12/2(火) 実施 ⇒6年生が、高齢者体験キットを装着し、高齢者の方が抱えている身体の扱いにくさなどを感じた。  ・12/11(木) 実施 ⇒車いすに実際に乗車し、操作の難しさや段差を越えることの難しさ等について、考えることができた。
学校行事外の参加活動	・令和7年度は、実施しなかった。
収集・募金活動	・①; 令和7年9月17日(火)～9月30日(月) ②; 令和8年2月16日(月)～2月27日(金) ⇒「ベルマークの収集活動」を実施。
学校間の情報交換・交流等	・令和7年度は、実施しなかった。
その他	・令和7年度は、実施しなかった。

\* 6月23日(月):「**聴覚障害の方の講話**」



\* 12月2日(火):「**高齢者体験**」



\* 12月11日(木):「**車いす体験**」



# 脇之島小学校

## ○今年度の重点活動

写真	<p>テーマ:「ふだんの・くらしの・しあわせ」ってなんだろう?</p> <p>内 容:地域との交流を生かした高齢者とのボッチャ体験を導入として、高齢者や視覚障害、聴覚障害を取り上げて、体験活動を中心にしながらテーマについて考えを深めていった。</p> <p>生徒のコメント: ボッチャ体験で地域の高齢者の方とやりました。みなさん元気そうだったけど、もし普段の暮らしに困ることがあったらみんなが思いができるように助けたいです。</p>
----	--

## ○活動面での総括

◎評価できること	手話を勉強して3年生に発信するなど進んで福祉に関わろうとする姿が見られた。
△今後の課題	学習したことを生活の中で実践したり実感させたりして、さらに考えを深めさせたい。

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	なし
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	1年間の学習内容やわかったことを、画像にまとめて3年生に発表した。
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	視覚や聴覚に障がいがある方から学んだことを、自分たちで調べたり、実際に手話を練習したりしながら、福祉について課題意識をもって取り組んだ。

○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	なし
地域での訪問・交流・体験活動	地域の高齢者とのボッチャ交流
学校行事への招待	なし
美化・環境整備活動等	なし
福祉体験	高齢者体験(アイマスク・白杖)、点訳体験、視覚障がい者講話、聴覚障がい者講話
学校行事外の参加活動	なし
収集・募金活動	なし
学校間の情報交換・交流等	なし
その他	参観日に保護者に向けて福祉の学習で考えたことやこれから実践していきたいことを発表した。



# 笠原小学校

## ○今年度の重点活動



テーマ:だれもが生活しやすい社会をつくろう

内 容:

ボランティア活動や身近な福祉活動を通して、社会福祉への理解と関心を高め、思いやりの心を培う。

・視覚・聴覚障がい者による講話・高齢者疑似体験・車いす体験・見守り活動について・独居高齢者への年賀状・パラスリート交流・中学生との地域ボランティア活動

児童のコメント:

・手話を学んだことで、手話についてさらに学習を深めたいという思うようになった。

・車いすバスケの楽しさや難しさを知ることができた。一緒にバスケをしてシュートもできて楽しかった。

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

・年間を通して多様な体験ができ、社会福祉や人権課題に関する理解と関心を醸成することができた。特に5年生における総合的な学習の時間において、体験的な活動が展開できた。

・中学校と連携して、人権教育推進、ボランティア等の活動を進めることができた。

### △今後の課題

・義務教育学校開校に向け、9か年通した内容・活動をさらに精査していく必要がある。

## ○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	視覚障がい者・聴覚障がい者の方の講話や体験活動を通して、福祉への理解と関心を高め、地域社会やこれからの生活でどのようにかかわっていったらよいか考えた。
地域での訪問・交流・体験活動	地域の独り住まい高齢者の方に年賀状を送り、地域に住む一員としてかかわった。 地域で開催された「ポッチャ大会」に、有志で参加し、地域の人や障がい者の方と交流した。
美化・環境整備活動等	花づくりボランティア・・・地域組織の方と連携し、地域に植える花を育てる活動を行った。

福祉体験	高齢者疑似体験・・・体験キットを使い、高齢者が体感している困り感等を実感し、どう接したらよいか考えた。
学校行事外の参加活動	地域夏祭りへのボランティア参加・・・夏祭りのボランティアスタッフとして、PTA や地域組織とともに活動した。
学校間の情報交換・交流等	各種ボランティア活動・・・笠原中学校ボランティア委員会と連携し、地域のボランティア活動に参加した。
その他	<p>パラアスリートとの交流活動・・・カナダのパラアスリート選手や車いすバスケットボール選手との交流を通して、福祉への理解と関心を高めた。</p> <p>パラスポーツクラブの活動・・・クラブ活動に位置付け、定期的に活動脛ことを通して、障がい者スポーツ等への理解や関心を高めた。</p>



# 多治見中学校

## ○今年度の重点活動



テーマ:「花いっぱい運動」に向けて、学校の花壇を整備しよう

内 容:職員玄関前の空きスペースを整備し花壇を設置することで、来校者や地域・保護者に心地よい学校環境を提供する。

生徒のコメント:花壇のレンガを美しく整えるために、レンガの高さを調整したり花壇の幅を調整したりすることが難しく感じました。できあがりつつある花壇を見て、気持ちが清々しくなり、多中に来てくださる方も同じ気持ちになってくださるとよいと思いました。

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

活動を通して生活環境を整えることで、子ども自身だけでなく周りの方々が気持ちよく生活できるようになることを体得させることができた。また、学校環境の整備のために多くの方々が関わっていることを考えさせることができた。

「花いっぱい運動」の一環として地域の「まちづくり市民会議」に提供し、育てた苗(マリーゴールド・サフィニア)を公民館等に配布した。

### △今後の課題

「花いっぱい運動」に関心を持ち、直接的に活動に参加する生徒は少ないため、その意義や価値について広く発信していく必要があると感じる。

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	

○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	環境・美化・福祉活動の一環として、職員玄関の花壇を生徒が整備する活動を実施した。
福祉体験	
学校行事外の参加活動	「花いっぱい運動」の一環として地域の「まちづくり市民会議」に提供し、育てた苗(マリーゴールド・サフィニア)を公民館等に配布した。
収集・募金活動	
学校間の情報交換・交流等	
その他	



# 小泉中学校

## ○今年度の重点活動



テーマ：

福祉講演会または、福祉体験・福祉活動などを実施することにより、福祉への関心を高めて、共生の精神を養う。

内 容：

美化・環境整備活動

収集・募金活動

生徒のコメント

様々な活動等に参加することを通して、地域・福祉に貢献していることを誇りに思う。ボランティア活動に対してやりがいを感じている。

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

- ・地域の行事や祭りなどに参画することで、学校と地域とが連携し子どもたちを育む活動になりつつある。
- ・生徒がボランティアとして参加することを通して、一人一人が地域や福祉に貢献し誇りと感じるとともに、自己肯定感・自己有用感を味わうことができた。
- ・子どもたちの目線や立場で活動を捉え、さらに地域・保護者・学校が一体となってより良い活動となるよう検討することで、持続可能な活動へと見出すことができた。

### △今後の課題

- ・参加する生徒が一定になりつつあるので、PR活動を促進したり、ボランティアの良さを広めたりして、活動の理解を求めるとともに、参加者を増やしていきたい。

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・小泉校区の青少年の主張大会 各大会の司会や運営の補助、準備や片付けにボランティアとして参加した。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・地域への紹介（パネル） 校区内の公民館や公共施設などに、ボランティアズとしての活動内容をパネルで紹介している。
調査・研究（地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等）	

○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験先として訪問・交流 2年生が職場体験できる受入事業先として、社会福祉協議会優が丘や高齢者向け住宅に訪問・交流した。</li> </ul>
地域での訪問・交流・体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園や幼稚園への手伝い 夏休み期間中に、各園に出向き、こいずみ体操を教えたり、園児と一緒に遊んだりした。</li> </ul>
学校行事への招待	
美化・環境整備活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館や交流センターとの連携 小泉公民館や交流センターの清掃・美化活動へ参加した。</li> </ul>
福祉体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児へのサポート 地域の交流センターに出向いて、夏場の水遊びのサポートやデイキャンプのお手伝いをした。</li> </ul>
学校行事外の参加活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の祭りに参加 小泉小PTA主催「やしろん祭り」に、イベント補助要員として参加した。 公民館祭りに、イベント補助・出店要員として参加した。 町づくり市民会議の企画・運営するイベントに参加した。</li> </ul>
収集・募金活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き缶集め アルミ缶を集め、回収業者を通して売却益を寄付している。</li> <li>・ペットボトルキャップの回収 ペットボトルキャップを回収し、回収業者を通して売却益を寄付している。</li> <li>・ユニセフ募金活動 年1回、募金活動を実施している。</li> </ul>
学校間の情報交換・交流等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動 近隣の小学校で、朝のあいさつ運動に参加した。</li> <li>・ペットボトルキャップの回収 近隣の小学校に、ペットボトルキャップ回収箱を設置して、回収運動に参加した。</li> </ul>
その他	



# 南ヶ丘中学校

## ○今年度の重点活動



テーマ：地域貢献できる生徒会(福祉)活動

内 容：

- ・福祉委員会を中心に通学路清掃やアルミ缶回収  
収益で福祉施設へ車いすの贈呈
- ・生活委員会を中心に日常的な挨拶活動
- ・生徒会執行部を中心に各種募金活動

生徒のコメント：

- ・通学路清掃や挨拶活動などで、支えられている地域の方に感謝を形で伝え貢献することができてよかった。

## ○活動面での総括

◎評価できること：生徒会執行部だけでなく、生活委員や福祉委員が積極的に活動し、地域で活躍したり貢献したりする活動を全校に広げることができた。

△今後の課題：担当委員会やボランティア参加生徒は各活動を積極的に行うが、無関心な生徒な生徒へ活動の意義や価値を浸透させていきたい。

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	2年生「福祉の仕事中学校訪問説明会」にて、岐阜県福祉人材総合支援センターやぎふ福祉の魅力知らせ隊員から講師をお招きし、福祉の仕事の魅力や苦勞などを学んだ。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	月に2回、生徒会執行部が「生徒会新聞」を発行し、通学路(地域)清掃、アルミ缶回収、赤い羽根共同募金などへの参加の呼びかけや、生徒の参加・回収状況を伝えることができた。
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	
その他	



# 北陵中学校

## ○今年度の重点活動



テーマ:「PRIDE」(誇り)をもつことができる生徒会活動

内 容:地域との繋がりをもつことができるよう、体育祭で地域の方が参加できる種目を設定したり、近隣の小学校とも協力して、地域清掃活動を企画したりした。

生徒のコメント:体育祭では、全校生徒だけでなく、地域の方や小学生の顔にも笑顔を広げることができました。年末に行った地域清掃活動には、たくさんの方が参加してくれたこと、施設の方から感謝の言葉をいただけたことが嬉しかったです。

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

- ・挨拶で絆の日に、北栄小、根本小と協力してあいさつ活動を行うことができた。
- ・体育祭において、オープン参加の種目を設けたことで、保護者、小学生、地域の方との交流を深めることができた。
- ・生徒会主催の地域清掃活動を行うことで、地域の環境美化に貢献することができた。
- ・クリーンステーションを地域の方や生徒で協力して積極的に利用し、資源の有効活用に貢献することができた。

### △今後の課題

- ・どの活動も意義深いものであるため、持続可能な取組にしていくためにも、生徒、教員の負担を軽減できるような形で運営していく必要がある。

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・特記事項なし
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	・生徒会主催の地域清掃の案内を、近隣の小学校にも配付し、啓発を行った。 ・生徒会通信「SKY BLUE」を活用して、生徒会活動や行事での仲間のよさを発信した。
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	・地域清掃活動に向けて、日頃生徒が利用している施設を明らかにした。

○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	・特記事項なし
地域での訪問・交流・体験活動	・生徒会主催地域清掃「さわやかクリーンウォーク」や「あいさつ活動」「地域のボランティア活動」など、地域とともに多方面で活動を行うことができた。
学校行事への招待	・体育祭や合唱祭などの行事に、福祉施設の方を招待した。 ・保育実習として、地域の園児を招待し、絵本の読み聞かせ等を行った。
美化・環境整備活動等	・生徒会主催地域清掃で、旭ヶ丘公民館、旭ヶ丘児童センター、根本交流センターの大掃除を行った。
福祉体験	・特記事項なし
学校行事外の参加活動	・ボランティア募集の情報を昼の放送やデータ送信を通して、全校で共有しながら進められたため、広く告知、多数の参加実績が残せた。
収集・募金活動	・クリーンステーションを地域、生徒で協力して積極的に利用し、資源の有効活用に努めることができた。
学校間の情報交換・交流等	・北栄小、根本小と協力してあいさつ活動を行った。 ・生徒会主催地域清掃活動に、北栄小、根本小でも募集を行った。 ・体育祭に北栄小の児童を招待し、オープン参加の種目を一緒に行った。 ・保育実習として、近隣の幼稚園、保育園の園児と交流した。
その他	・特記事項なし



# 南姫中学校

## ○今年度の重点活動



テーマ:「ちがいを認め合うこと

「自分らしさ」を大切にすること

内 容:LGBTQの方による講演「自分らしさって何だろう」を聞き、学級で自分らしく生きることや違いを認め合うことについて交流した。

生徒のコメント:周りに左右されず、自分らしく生きていけばいいと思った。男や女など決めつけるのではなく、相手の思いや考えを大切にしたい。

## ○活動面での総括

### ◎評価できること

一人一人が「ちがいを認め合うことや、人とは違う「自分らしさ」を大切にすることについての理解が深まった。また、制服の在り方についても見直すきっかけとなった。

### △今後の課題

生徒の願いを全校アンケートで把握し、教育講演会の講師や内容決定に反映させていく。

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	LGBTQの東郷潤さんによる講演会「自分らしさって何だろう」を開催した。その後の学級活動で、自分らしく生きることや違いを認め合うことについて意見交流をした。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	校内掲示、学校報、HP等に掲載した。
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	11月に地域の方や民生児童委員、防災士等を招き、防災講話とDIG訓練を1年生対象に実施した。



○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	特記事項なし
地域での訪問・交流・体験活動	3年生が家庭科の授業で、園児と遊ぶ玩具や道具などを作成し、姫こども園を訪ねて保育実習を行った。 生徒会が南姫小学校のひめっ子委員会と連携し、ペットボトルキャップの回収を行い、社会福祉協議会に寄付した。
学校行事への招待	特記事項なし
美化・環境整備活動等	年2回の姫川清掃、夏祭り後の地域清掃等へのボランティア活動を行った。 登下校時、3年生が通学路のごみ拾い活動を3回行った。 生徒会を中心に全校で育てた花を、地域に配った。
福祉体験	1年生の総合で、認知症サポーター養成講座による講演を実施した。
学校行事外の参加活動	地域が主催する行事(春と秋の姫川清掃・夏祭り・ミニスポーツフェスタ、グランドゴルフ、どんど焼きなど)にボランティアとして参加した。
収集・募金活動	生徒会を中心としたアルミ缶回収、コンタクトケース回収、ペットボトルキャップ回収などを行った。
学校間の情報交換・交流等	夏と冬の多治見市連合生徒会交流会において、多治見市中学校宣言をもとに、各学校の活動内容を交流した。 生徒会が、南姫小学校とオンラインで情報交流をした。
その他	特記事項なし



# 笠原中学校

## ○今年度の重点活動

	<p>テーマ：自分や周りの人々の人権を大切に、多様な他者と協働することができる生徒</p>
	<p>内 容：          ・地域で開催されるボランティア活動への積極的参加          ・パラスポーツ体験          生徒のコメント：実際に障がいのある方と一緒にスポーツをやってみて、共に楽しむことができて嬉しかった。手や足に障がいがあってもボッチャが上手いので、驚いた。</p>

## ○活動面での総括

<p>◎評価できること</p>	<p>・学校の空き教室をボッチャ専用の教室として開放したことで、生徒たちがパラスポーツに興味をもって取り組むことができた。その体験から、市内で行われた障がい者スポーツ大会に自ら参加する生徒がおり、障がいのある方と実際に交流することができた。          ・生徒会の呼びかけにより、M美化(朝の地域清掃活動)が習慣として位置づいている。</p>
<p>△今後の課題</p>	<p>・ボランティア活動に積極的に参加する生徒が年々減少している。また、限られた人間関係にとどまりがちのため、悩みを抱え込んだり、物事のとらえ方が一面的になったりする傾向も見られる。今後はもっと子供たちが積極的に地域に足を運び、多様な人々と交流できるよう、ボランティア活動の在り方を工夫する必要がある。</p>

## ○広報・啓発活動のまとめ

活動の分野	具体的な内容
講演会・映画会・展示会等の開催	・くらし人権課による「ミニ生命のメッセージ展 in 笠原」のパネル展示を実施。犯罪被害者の遺族の方々の思いを知り、生きていることの尊さや、突然生きる権利を奪われることへの憤りなどを考えることにつながった。
学校新聞、児童・生徒会新聞等の作成	生徒会から、昼の放送による全校への呼びかけ(M美化前日の啓発、M美化当日の活動に対する評価)
調査・研究(地域・施設調査、福祉マップ、バリアフリー調査等)	

○体験学習のまとめ

活動の分野	具体的な内容
福祉施設等への訪問・交流活動	
地域での訪問・交流・体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月に笠原体育館で行われた「障がい者スポーツ大会」に数名の生徒が参加した。</li> <li>・笠原の森での土石流模型実験・砂防堰堤の見学を行った。</li> <li>・笠原の森の土と木の観察を行った。</li> </ul>
学校行事への招待	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「笠原一貫教育の日」や外国人留学生を招いての「国際交流会」に地域の方を招き、学習の様子を参観していただいた。</li> </ul>
美化・環境整備活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週火曜日に地域清掃を行った。回収したごみを代表委員が集め、分別した。同時に校門前や駐車場の清掃を行い、全校生徒で美化活動を行った。</li> </ul>
福祉体験	
学校行事外の参加活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会代表委員長が、地域で行われる祭りや防災行事などについてボランティアを募った。複数名の生徒が参加し、地域で活動した。</li> </ul>
収集・募金活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会を中心に、「赤い羽根共同募金」に参加した。2日間で17000円の集めることができた。</li> </ul>
学校間の情報交換・交流等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連合生徒会を通して、各学校の取組を交流することで、他校のよさを知り、本校の取組に生かすことができた。</li> </ul>
その他	

